

公 表 日

平成 3 0 年 5 月 1 5 日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	平成 3 0 年度建設技術開発調査検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の 氏名並びにその 所属する部局の 名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 九州技術事務所長 島本 卓三 福岡県久留米市高野 1 丁目 3 - 1
契約年月日	平成 3 0 年 5 月 1 5 日
契約業者名	西日本技術開発（株）
契約業者の住所	福岡県福岡市中央区渡辺通 1 - 1 - 1
契 約 金 額	1 6 , 2 0 0 , 0 0 0 円（税込み）
予 定 価 格	1 6 , 2 9 7 , 2 0 0 円（税込み）
随意契約による こととした理由	別紙のとおり （※随意契約理由書を添付すること。）
業 務 場 所	九州技術事務所
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間（自）	平成 3 0 年 5 月 1 6 日
履行期間（至）	平成 3 1 年 2 月 2 8 日
備考	入札情報サービス（P P I） （ http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx ） にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契 約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 平成30年度建設技術開発調査検討業務

2. 履行場所 福岡県久留米市高野1-3-1

3. 契約の相手方 住 所：福岡市中央区渡辺通1丁目1番1号
会社名：西日本技術開発株式会社
電 話：092-781-2867

4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、発注者が収集する建設事業に関する技術ニーズについて、整理及び課題の抽出を行い、そのなかで取り組むべき課題については基礎調査を実施し、その結果を踏まえ評価資料を作成するものである。また、これまで開発された建設技術の活用実態調査と分析を行うものである。

2) 業務の内容

・計画準備	1式	・活用実態調査・分析	1課題
・ニーズ整理および課題の抽出	30件	・業務内総括	1式
・基礎調査における評価方法の検討	1式	・技術情報管理システム等の保守・改善検討	
・基礎調査	5件		1式
・評価資料作成	5課題	・報告書作成	1式

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を19者が入手（ダウンロード）し、2者から参加表明書が提出され、2者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち2者を技術提案書の提出者として選定し、1者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断された。

特に「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「業務理解度」、「実施手順」における業務項目について、具体的実施手法の提案かつ業務項目間の整合が図られており、実施フローの妥当性が高く、特定テーマの「基礎調査における評価方法の検討における留意点」に対する技術提案について着眼点、解決方法等が的確かつ理論的に整理され説得力があり、提案内容を裏付ける類似実績を有しており、優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

九州技術事務所 防災・技術課長